

2018年度 後期授業評価アンケート 顕彰科目担当教員コメント

教員名	佐々木閑
顕彰科目名	禅思想研究演習 2
<p>●授業運営において工夫されている点</p> <p>研究者育成を本義とする大学院の授業なので、教師が一方向的に教授する方式では不十分なため、学生の発表を主にして進めている。ベースはインド関係の仏教哲学書の連続講読であるが、読みの難解な箇所や、重要な問題を扱っている箇所については、学生に調査を割り当て、当てられた学生は数週間から数ヶ月をかけて、その点に関する先行研究を調査した上、皆の前で発表する。こういう方式により、学生自身が新たな研究テーマに行き当たったり、縁の薄かった分野の先行研究に出会ったりする確率が高くなる。自身の研究の幅が広がるという点で、このような授業の方式が学生から高評価を受けたものと思われる。</p> <p>●今後取り組んでいこうと考えておられることなど</p> <p>資料の講読と平行して、テーマ別、あるいは過去の研究者別に先行論文を網羅的に調査し、その内容を分かりやすくまとめて発表するという、「先行研究発表会」という形式の授業を考えている。これは以前、私が工学部にいた時に、その研究室で採用していた形式の授業で、これにより、対象とする領域の研究の流れが時間軸上に総体的に位置づけられるため、現在行うべき最先端の研究はなにか、という最も重要な問題が明確化される。学生の資質にもよるが、研究者を目指す、質の高い院生が多く参加する状況になれば、いずれこのような形の授業を導入するつもりである。</p>	